



東洋特殊鋼業株式会社 URL:<http://www.toyotokusyu.co.jp>

大阪本社 TEL06(6532)4832 FAX06(6531)4270 E-mail:osk@toyotokusyu.co.jp

東京事務所 TEL03(3293)2682 FAX03(3293)2681 都祁事業所 TEL0743(84)0321 FAX0743(84)0324

秦皇島東洋特殊鋼業有限公司 TEL(0335)8508202 FAX(0335)8508205

## 名古屋国際会議に中国冷弯型钢協会代表団 28 名参加

6月18日・19日、名古屋大学野依記念学術交流館を会場に開催された、(社)日本塑性加工学会ロールフォーミング分科会・国際管材協会共催の国際シンポジウム【NAGOYA TUBE 2007】は、アメリカ・ドイツ・オランダ・ウクライナ・オーストラリア・イタリア・ノルウェー・中国など海外からの参加者60名を含む250名余が参加盛大に行われました。主要な講演者と演題は以下のとおりでした。

- 「自動車への管材の応用」 トヨタ自動車(株)要素生技部グループ 長峯功一
- 「超微細粒鋼板の製造技術の開発」 東京大学名誉教授 木内学
- 「高張力鋼板の特性と成形技術」 名古屋大学教授 石川孝司
- 「JCOE 技術による大径管の経済的かつフレキシブルな製造」 B. Genser, S M S Meer
- 「中国における管材の製造、現状と将来」 中国冷弯型钢協会会長 丁国良
- 「建築用角パイプに対する要望」 大林組(株)構造設計部部長 藤田佳広
- 「管材技術の進歩と将来への展望」 新日本製鐵(株)部長 赤崎宏雄
- 「レーザー溶接極薄ステンレス管の開発」 日新製鋼(株)技研課長 仲子武文
- 「高張力鋼管のロール成形の FEA 解析」 中国北方大学教授 J. Li u
- 「電縫管のロール成形と高周波溶接過程の FEM 解析」 data M. A. Sedlmaier
- 「ロータリーサイジング技術による高精度管の製造」 日下部電機(株) B. Childlow
- 「ERWパイプミル用フレキシブルサイジングシステム」 (株)中田製作所 中田巖
- 「温間縮径法による高強度・高成形性を持つ新しい電縫管の開発」 JFE スチール 依藤章
- 「ロール成形された角管の残留応力に関する実験的研究」 上海宝钢集団 Y. F Ma G. Zeng  
Y. Pan Y. J. Guo

北京オリンピック・上海万博を控え、国際レベルの鋼管造りを目標に、鋼構造用大径鋼管・角鋼管や石油ライン用の大型鋼管設備の増強を軸にめざましい急成長の一翼を担って活躍中の中国冷弯型钢協会(丁国良理事長)からは、28名の大型代表団が「NAGOYA TUBE 2007」参加のために来日しました。丁国良中国冷弯型钢協会理事長・張瑞林秘書長はじめ、武鋼集団漢口軋鋼廠朱少文副総工師。山東省山鋼集団銭占緒董事長。上海宝钢建築研究設計院冷弯型钢廠潘輝工場長。上海佳芸冷弯型钢廠朱繼昌工場長・姜春民副工場長。南京中軽機械設備製造有限責任公司齊觀光董事長。攀鋼集団鋼城企業總公司胡建新副總經理。攀鋼集団鋼城企業總公司冷弯型钢廠蘇頭真工場長。石家莊軸承設備股份有限公司紀山董事長・孫連友總工師。石家莊富瑞沃機電設備有限公司範恒文總經理。瀋陽東洋異型管有限公司金鏞總經理・石俊紅總經理助理。瀋陽理工大学科技開發總公司楊德興副總經理ほかの皆さんでした。

## 日・中技術交流会「ERW溶接と走行切断装置」 奈良市都祁交流センター

会議参加の日程を割いて当面の課題についての技能交流もしたいという中国協会の希望もあり  
6月17日(日)当社は都祁交流センターを会場に、来日のみなさんを招待し昼食をはさんで9時から15時まで日中技術交流会を開催しました。

日下部電機(株)日下部守弘取締役からERWラインにおける走行切断機の構造・機能・問題点・課題についてビデオを利用した詳細解説と質疑応答。

秦皇島冷弯型钢技術センター渡辺豊さんのERWラインにおける溶接の問題。中国室張さん翻訳の中国語パワーポイントによる解説。いずれも国際レベルを目指して大型設備を増強している中国が今取組中の操業技能に関する重要課題で、天津利達鋼管での取組み経験もある渡辺顧問の解説に質疑応答も真剣でした。終了後都祁工場正門をバックに記念撮影、バスで名古屋へ出発しました。

## 田中鉄鋼販売(株) 羽生在庫センターも見学 - 大径・長方形コラムの在庫に関心 -

名古屋国際会議を終え、(株)アマダソリューションセンター(平塚市)を訪問した中国冷弯型钢代表団は、23日、大型バスで田中鉄鋼販売(株)羽生在庫センターを訪れました。主要メーカーの大型コラムからスモール角パイプを中心に主要サイズ2万トン在庫、浦安・土浦・仙台の各センターなどに常時計約4万トンをそろえて、東日本一帯にきめ細かいサービス体制を構築する独特の経営ぶりに関心を寄せていました。島田常務他幹部の皆さんが総出で歓迎、特に600×300・500×300・400×300など大径長方形サイズの在庫品に驚いていました。

## 東日本旅客鉄道(株)新津 相互啓発会議に参加

5月31日、新潟市内キャトルセゾン会議室で、第4回「東日本旅客鉄道(株)新津製作所(西岡恵所長)取引先相互啓発会議」が開催され、108社・152名が参集しました。第3回より参加させていただいた東京営業所からは中谷課長、會澤担当が出席しました。会議は西岡恵製作所長の挨拶、「今後の生産計画」吉田計画部長、「車輛の品質状況」蓮沼品質管理課長、「購入品の品質及びコストについて」高橋資材課長のお話のほか、JR東日本本社運輸車輛部大田次長の「ニューフロンティア2008(中期経営構想)」の講演がありました。

## 東鉄連・東京鋼管会に加盟

東洋特殊鋼業(株)東京事務所(武藤賢一所長)は、扶桑鋼管(株)江村伸一社長・長谷川パイプ(株)長谷川隆社長の紹介を頂き、東京鋼管会に加盟しました。5月17日の第49回定時総会で承認されました。